



ありがとう

17才 2006年8月29日～  
2007年10月6日の日記より



## 藤田健吾

### 作者プロフィール

藤田健吾

1990年2月8日～2007年10月9日

1990年(平成2年)2月8日静岡県浜松市に生まれる。

浜松市内の小中学校を卒業後、県立浜松南高等学校へと進学。

小学2年生から地元のサッカー少年団に所属。2004年(平成16年)中学3年の10月に難治性の病と診断される。友達と同じように受験し・合格サッカー部に入部。

周囲に病を明かさずに、学業・治療や診察ともに部活の練習をこなした。

3年間の闘病の末、2007年(平成19年)10月9日に、17歳で永眠。



発刊にあたって

健吾が中学3年、14歳の時に病が発見されました。小学校・中学校と共に皆勤賞でした。スリムな体でしたが、ほとんどお医者さんのお世話になる事が、ありませんでした。

まさに青天の霹靂と感じました。

物腰は柔和でしたが、内には強い意志を秘めた人に成長していきました。

60万人に一人という発症部位、ましてや14歳で発症することはまずないと、言われました。

生前の彼が、病名を語らなかった事を今も尊重してあげたいと考えます。

彼の遺志を尊重した事によって周りの人に少なからずご迷惑をおかけした事を、この場を借りてお詫びます。

彼のブログにたくさんの誌的文章が残っていました。そこから様々な思いや葛藤、そして生かされている私たちへのメッセージとも受け取れました。

彼が大切にしていた友人達の卒業式に向けて出版することに決めました。ここに書かれているものは、日記の中から私達が選んだものです。「受け継ぎ」という詩には『受け継ぐものがいれば報われるとあります』私達もまた、受け継ぐものになりたいと思います。

彼の残したものが、皆様の何かのお役にたてれば幸いです。

2008年3月

藤田伸之・恵美子

まぶしい笑顔が空気の色を変えた。

透明な光を放ち、風に化け

微笑みと涙が君を美しくしていった。

何が可能で、何が不可能なのか

何を我慢し、何を遺してくれたのか

君は子供っぽいというか無邪気な性格だからすぐにみんなと仲良くなっていた……。

君がみんなとの間に立ってくれたから僕も仲良くなれたよ、ありがと……。

部活のことに話を変えるね。君はいつもあたりが弱くてスピードも体力もね……だったから大丈夫かな??とたまに思っていた。けど僕も君と外周走るのが同じくらいだったから……『お前には負けん』みたいな感じで言ってた気がする。

今考えるとホントにあん時の僕はバカだったよ……君の辛さなんか全然知らなかった。

みんなが、おまえの人間性に引き込まれていたんだよ。俺もそうなのだけだね。

おまえの弁当のデザートもよくとりあったよな(^-^)おまえのなのね!

学校での振る舞いを見ていると、とてもおまえが重い病気を持っているとは思えなかった。

おまえは最後までホントにかっこよかった。痛みをかかえながらも俺らになんの不安も見せず、前だけを見て走っていた。俺もこれからはおまえみたいにみんなに慕われるかっこいい生き方をしたいと思う。お前は俺の目標だ!!そしてお前はこれから俺のなかでずっと走り続けるんだ。俺がお前に追い付いたとき、俺は初めておまえみたいなかっこいいやつになれるのだ。お前は俺のなかでずっと生き続けている!!!



## 目次

作者プロフィール	2
目次	6
ただいま	8
タイヨウのうた	9
翼	10
夢	11
打ち上げ	13
久しぶり☺	15
インター杯	16
退院	17
◻学校◻	18
◻ｽﾊﾞｲｸ◻	20
Message	22
また負けた☹	23
負けた	24
贈る言葉	26
宝物	32
受け継ぎ	33
部室	34
想い	35
幸せ♥	36
振り返り	36
選手権	37
もしも...	39
行きたい	39
大好き	40
プロ	42
運命	43
新津のエース	45
デブ	48
オランダ	50
だめだぁ...	52
終業式	53
きつい日	54
ウカ部	55
むずかしい	56
あこがれ	57
鈴木秀人	58
元気☺	60
自慢	61
分かっちゃった	62
分かっちゃった↘↘	62
久しぶり☺	63
復活☺	64
あとがきにかえて	66

高2夏 部活遠征

オランダ帰国から始まります



---

🌐 2006 8 29 (Tue) 🌧

---

## ただいま

今日、無事オランダより帰国しました👏👏

いいところだったよ👏、涼しくて、ご飯は米がなくて不満だったけど...

たのしかった、オランダ人はデカくて当たりが強い...

けどスタミナがないみたいみんなフレンドリー

日本人と早く試合して自分の成長を知りたい👏

負けなしでおわり

観光もいっぱいしたか、試合観戦は超盛り上がった

みんなサッカーが大好きみたい🌐

オランダ人の女はきれいだった、けどちょっとデブ👏

顎割れだった人も多い

とりま楽しかったなあ

そんなカンジの一週間だし

みんな将来行ってみな👏👏

---

🌐 2006 9 15 (Fri) 🌧

---

## タイヨウのうた

一人タイヨウに嫌われた子が生を受けた

そしていくつものつらい想いをしてきた

いくらでも我慢してきた

そしてその子は大人になった

そしてタイヨウの下に出ようとして

この世を去った

僕はタイヨウの下に生まれた

タイヨウにいじめられることもなく

今まで考えたこともなかった

自分が死と向き合ったとき

自分は選ぶことができるだろうか

## 夢か

## 命か

そのために大切なものを手放すことができるだろうか

それまでに本当に大切なものを見つけられるだろうか

命と比較するほどの夢を見つけられるだろうか

タイヨウの下に生まれたことに本気で感謝できるだろうか

---

🌐 2007 3 24 (Sat) 🌧

---

## 翼

翼を失った鳥はもう飛ぶことはできない

飛べなくなった鳥は鳥である意味がない

しかし鳥をやめることはできない

走れなくなったスポーツ選手は

翼を失った鳥と同じ

しかしスポーツ選手をやめることが可能だ

病気になった人は

過酷な人生を受け入れなくてはいけない

しかし翼を失った鳥とはちがう

そして人間をやめることは許されない

逃げない

-----  
🌐 2007 3 25 (Sun) 🌐  
-----

## 夢

あるとに「お前将来何やんの?!」って言われた

私は「何も考えてない」って答えた

「じゃあこの際暇なんだから真剣に考えてみなッ」

そういつて彼は電話を切った

この言葉をきっかけにここ最近将来の夢について考えた

職業はおろかどんなトをやりたいかすら頭には浮かばない

自分が好きなトって何だろう自分に問う

サッカー🌐

考えてみれば小さいころから色んな習い事とかをしてきた

絵画、書道、少林寺憲法、その他

どれもめんどくさくてやめてしまった

長続きしなかったトではイ親がやめさせてくれなかったが

でもそんなめんどくせえだのやりたくねえだの言わずにずっと続けてきたことが一つだけ

ある

サッカー🌐

昔から運動能力は低くてボールコントロールも下手くそ試合に出れないことは多かった

それでも一度もやめようとしたことがイもの

それがサッカー🌐

中 の時に病気になって高校に上がる時告知を受けた

自分が辛い思いをしながらサッカーを続けることになるだろうトを知った

それでも私はやめようとしなかった

サッカー部に入部した

もともと運動能力が高くない私は

きっと一番下手くそだった

気がついてなかった外\*

病気で全盛期よりも体力はさらに落ちていただろう

さらに治療や診察でほとんど練習に参加できない時期が続くこともあった

そんな時期に骨折したりもした

夏の合宿は全てのメニューをこなしたあと実はブツ倒れてた

本当に辛い思いをしてやってきた

それでも一度もやめようとはしなかった

そんなに好きだったんだなあって...

だからこんなことというのは恥ずかしいけど私はいまでも将来サッカー選手になりたいと思ってる

のかもしれない

まあ自分の能力じゃ無理だけど

だから将来はできるだけレベルの高い環境でサッカーをしたいなあ...

これが真面目に考えた私の将来

じゃあ

-----  
🌐 2007 3 30 (Fri) 🌧  
-----

## 打ち上げ

最近思うのね  
大切なコッって  
距離を置いて初めて  
その大きさを知って...  
ってのも 暇だから  
昔の日記読んだだよ  
そしたらさあ  
こないだまで  
普通に高校生してる  
自分がそこにいるだよ  
当時は 高校生って忙しい...頑張ってた  
つまらん授業して  
疲れる部活やって  
たまに怒られて  
くだらんコッして  
でも今思えば あの頃の自分 好きしてるなあ...  
そんなトこの曲を聞くワ  
BUNP OF CHICKEN  
『Supernove』  
今  
この曲が自分の心です♡  
友達も  
離れてた  
その大切さを知ったなあ  
みなさん  
この好きしてたころのように  
いちんちだけ  
付き合っていただけませんか?!  
始業式の前の日か  
外泊もらえるかも❖❖❖  
そんなト男ワの打ち上げしましょ❖



⊕ 2007 4 06 (Fri) 🌧

## 久しぶり🎵

今日は始業式🎵

久しぶりにはみんなに会いました🎵

絡んでくれたヒありがとう🎵

てか最近悩みがあつてさ🎵

どーしょ🎵

俺の人生ってけっこうつらいなあ🎵

リアルに🎵

今までつらいことはなるべく避けてきたし🎵

やっぱそのしわ寄せがきたのかなあ

でも無理はしないようにしないと🎵

それが一番大事🎵

つらいことは避けてきたとは言え...

サッカーやってるヒは違ったと思う🎵

みんなの目にはそうはうつてなかったかも

自分でもやっぱ納得できないヒも少なくなかった

でも見てるヒはちゃんと見ててくれた

それは今の自分にとって自信になってます

いくら自分自身の中で納得できなくても

いくら身近な人が分かってくれなくても

頑張ってる姿はちゃんと見ててくれるガこれから頑張っていけそうデス🎵

周りのヒから見て今の自分はどう映ってるのかなあ...

ぢゃ🎵

-----  
🌐 2007 4 06(Fri) 🌐  
-----

## インター杯

勝つぜよ 🌐

久しぶりに練習行って 🌐

思うこといろいろある 🌐

やっぱ私の帰るべき場所って 🌐 だなあ

というか帰りたい場所ってそこにしかないなあって...

だからツラくても頑張れる 🌐

でもまたあの雰囲気の中で練習して

一度でいいから輝きたいなあって思っちゃう

とにかく私の大切な仲間たちと少しでも長い時間一緒にいたいから

勝とうぜ

インター杯 🌐

そんで誰にでも誇れる結果出して

この仲間たちが一生の中で一番誇れるって胸張って言えるようになる 🌐

とにかく

勝つ 🌐

-----  
2007 4 07(Sat)☺  
-----

## 退院

外泊で 日間過ごしてみても決めたことがある

自分は少し珍しい病気なので地元を離れて

特殊な治療を1ヶ月やって

向こうの病院は何かと不便で寂しいか

いろんな不満はあったかもしれない

そんな中こっちに帰ってきてサッカー部の練習に顔を出せば

みんな昨日も一昨日もいたように当たり前を迎えてくれた

リッラとのぞむ最後の大会がもう始まろうとしている

それが自分だけでスタートしてしまうのがイヤだから

今回は退院という形をとってしばらくみんなと一緒に過ごします☺

またよろしく☺

まあ自分が登録に入って試合にでたいという気持ちは今でももっている

でもこんな状況でそんなぜいたくは言ってもらえない

それにこんな状態なのに 年の時からサッカー部においてくれたリッラと

当たり前仲間として変わらない態度でもう一度迎え入れてくれた

仲間にただ感謝です☺

まあ

菅原があんまり不甲斐ないプレーをするようなら

いつでも出場する

ポジション違うけど

---

2007 4 11 (Wed)

---

## 学校

今日は久々の授業

久々に全部出た

学校楽しい

めっちゃ疲れる

6時間目か死んでた

授業終わったら声でないし

だから部活やすんちゃった

残り少ない部活が

あ復活したらいつまでも部室にいてやるからいいもん

みんなめっちゃツイとかゆってるけど

正直うらやましい

まあいざやったらたぶんこんなバカな事は言えんな

インター杯終わる前に絶対復帰してみせる

だから勝とう

じゃ



☺ 2007 4 15 (Sun) 🌧

🌧 スパイク 🌧

今日弟が新しいスパイクを買った

いなあ♡

まっ♫

また復帰したら買ってもらおっ♡

んで弟に今はいてたのくれて言ったらあっさりくれた

弟のスパイクに足が入るようになってる☺

アツに追いつかれるのか☺

おもえば発病したのはおそらくいまの弟くらいのころ

弟はこれからどんどん成長していく

自分はどうなるのかは分からんかなあ♡

弟はこんな兄貴をすごく尊敬してくれる

自分はそんな器ではないのに

でもありがたい☺

それにたいしていつの間にか私は弟をうらやましく思うようになりつつあるなあ...

自分よりバカでダサくていつも怒られてるけど

アツは私より可能性を持ってる気がして

ちょっとだけうらやましい♡

まあ元気になればこんなことも言わなくなるさ♫

とにかく🌧

一日も早い回復を♡

じゃ♫



2007 4 30(Mon)

## message

実は自分は入学した時病名の告知を受けた  
病名を隠すことはできない外  
そして親にサッカーを続けるかどうか考えるように言われた  
私は迷わず入部を決意した  
辛いことが待ってることも考えずに...  
実は入部に反対する先生もいたらしい  
そして通院しながらの部活をする事になった  
さぼりすぎと言われたことも少なくない  
普通じゃ登校するのも辛い治療をしながら部活に参加することもあった  
長く休まなきゃいけない日もあった  
そんな治療が終わりすぐに大けがをしたりもした  
それでもサッカーが好きだから続けてきた  
だからもう一度みんなと同じグラウンドに立って同じ練習をしたい  
それで部室にたまってみんなと一緒に練習がしたいとか  
先生はおかしいとかくだらない文句とか言いたい  
そのためにいまいろんな薬とか新しい治療とか試してます

そのほかのみんな  
負けないでください  
後がけいからこそ  
勝とう  
そんでまた一緒にキューコなせるチャンスをください  
いつまでも一緒にサッカーやろう

2007 5 04(Fri)

また

負けた

これで引退決まりなのかな...

まだ実感イ

いやだなあ...

てか負けて謝るのはおだよ

明日は勝とうな

できればバスから一緒に行こうと思ってる

よろしく

とにかく明日こそ勝って終わろう

なッ

菅原

あきひろ

とみだ

おかもと

おりばー

まっきー

くみちょー

いよだ

いわっく

あだち

なおや

吉田

いぶき

てつや

かま

けんすけ

やまふじ

かい

こば

もり

うっちー

いまちゃん

ジョン

くれ

まえだ

さとう

あきら

キ

おやじ

勝つぞ

---

📅 2007 5 04 (Fri) 🌧️

---

## 負けた

今日も負けちまった ↘ ↙

これで引退

寂しいのと

悲しいのと

悔しいのと

いろんな想いがこみ上げてきた

今まで一緒だったやつらと

もう一緒のグラウンドで

辛いけど

ツライけど

嫌になるような練習だけど

できなくなっちゃうのは

やっぱり寂しい

明日は最後の試合

絶対勝とうなッて



2007 5 05(Sat)

## 贈る言葉

牧野

ありがとなッダ

まぢ一生の思い出できたわ

みんなに一言ずつ言葉を贈ろうと思います

55

岡本 仁成

鮮やかなホ-ルさばきが魅力

10年近く一緒にカカして

たまにガ-いカ思-うこともあったけど...ワ- あなたはサイコー

56

野中 昭利

1vs1で絶対抜ける気がしない

俺んちに来たこともあったな

たまに冷たいときカ淋しかったゾ

57

牧野 雄太

他の人にはカガツツが魅力

最後に思い出をありがとう

10年間いつも助けられてばっかだったな

58

宮崎 光太

浜南の誇る鉄壁

誰よりも厳しいヒト

でも誰よりも優しく接してくれたネ

59

伊与田 修平

突破力と足技が魅力

何考えてるかわからなかったトもあるケ-

お前との絡みはサイコ-に楽しかったゾ

60

足立 吉隆

誰よりも速いピ-ド-が魅力

なんだかんだでお前のシ-リは結構おいしかった

61

岩倉 有輝

冷静な判断力が魅力  
なんだかんだで柄ぢゃナイのにイ`られたり  
でも楽しかったぜ`

62

松本 尚也

機動力とディフェンスが魅力  
あなたの川はサイコ-  
クールに見えて誰よりも情が深いあなたが大好き`

63

吉田 章吾

左足から飛び出す如しと打点の高いジ`ャツ`ハツ`が魅力  
話し出したら止まらんお前が好き`  
勉強頑張れ

64

鈴木 徹也

スピ`-ド`とパス(笑)と...すべてが魅力  
あなたはすごい  
ちょっとした目標でした`

65

菅原 健吾

周りを黙らせる足技が魅力  
同じ名前ということもあって  
実は入学当初がライバル意識持ってました`  
誰よりも優しくクールな健吾が大好き`  
ワ`ママで私`入ってくれてありがとう`

66

森田 息吹

誰にも負けないという自信の持ち主  
一緒に辛い思いすることもあったけど  
お前とは楽しくできたなッ  
おにぎりはでかすぎ`

67

古田 憲一郎

球技大会での闘志のこもったダ`化`ソ`ハツ`が印象的  
お前とも最後まで一緒にやりたかったぜ`

68

稲垣 健介

ほとんどまけないつよいあたりが魅力  
お前は一番の友達と言ってもイ`くらい仲良くしてもらった  
最後までやめないでくれてほんとにうれしかった

69

蒲ヶ原 有祐

でかい体でのキープが魅力  
恋愛がらみでいろいろあったな  
ホト世話になった

70

藤田 健吾

自分の魅力ってなんだ!?  
病気にも負けず頑張りました

71

村田 海

ちょこまかのドリブルが魅力  
なんだかんだでいじられてばっかだったね  
ありがとなッ

72

富田 慎介

マッスル(笑)でハッスルなプレーが魅力  
一緒にいる時間が長かった分  
だれよりも頼りにできる存在でした

73

山藤 大和

スピードのある突破と正確なトラップが魅力  
最初は怖かった

絡みにくかったと思うけど積極的に絡んでくれたあんたはえらい♡

74

小林 達哉

長く伸びた身長から繰り出されるペイキングシュートと長くしなる足から蹴られるボールが魅力  
2年の中盤らへんからかなりなかよくしてくれてありがとう  
あなたは宝物

75

内山 竜

パワーみなぎるシュートとどんな奴にも負けない駿足が魅力  
うっちはちょっと怖い存在でした  
同クラだでよろしく

76

岡部 浩之

絶対に揺るがない判断力と観察力が魅力  
2人組とか世話になった  
できればもうちょっと一緒に物かやりたかった

77

竹田 容篤

顔に似合わないさわやかさが魅力  
突然いなくなってびっくりだよ  
最後試合見に来てくれてありがとう

78

森 啓祐

スラッと伸びた身長が魅力  
絡みずらい奴だったけど  
実は一緒にいる時間一番長かったかもなッぽ  
楽しかったぜ

79

今田 浩介

正確なホ° スプレーが魅力  
叩袖でいぢりすぎてごめん  
結構話し合ったよなッぽ

80

樽林 裕貴

リーダーシップと運動量が魅力  
キャ°テンだったからホトに迷惑かけたなッぽ

81

前田 康平

たまに見せるトリッキーな°プレーが魅力  
怒らせてばっかでごめんな  
そんでもってありがとう

82

佐藤 祐太

正確なホ° -ルコントロールが魅力  
ムカつくところもあったけど出会えてよかったッぽ

83

鈴木 章浩

誰にも負けないリフティング° が魅力  
男ケってこともあってお世話になったな  
だれよりも尊敬できる人でした

84

上別縄 輝

誰よりも正しい分析力が魅力  
辛いことも少なくなかったが° 最後までお前とサッカーできてよかったッぽ

85

木ノ下 裕太郎

華麗なホ° -ルの扱いが魅力無神経なところもあったけど  
全部ひっくるめてお前が好きだよ

29

86

渡邊 駿介

ゆるがないパワーが魅力  
いやな奴って思うこともあったけど  
気を使ってくれてありがと

GK

上田 哲也

恐ろしいほど優れたキック持久力瞬発力が魅力  
怖くてもホトは優しい  
そんなギャップに惚れたぜ

マネ

原田 沙織

働き者なトと素敵な笑顔が魅力  
いつも陰で支えてくれた  
あなたがいたから浜南があるんだよ  
あなたも立派な仲間です  
ホトにありがとう

氏原

秀祐

成瀬

虎次郎

森田

渡邊

蜂須貨

貴島

大地

林

熊切

大庭

貴雅

駿太

青山

下山

健斗

一輝

賢

袴田

貴之

酒井

大内

友紀さん

紗弓さん

一年生

おまえらも世話になったな、ありがとッ

打ち上げ楽しかった🎉  
みんなでオランダ行こうな🇳🇱  
じゃ👏



-----  
2007 5 05(Sat)☺  
-----

## 宝物

一年の時から病気だった俺は心の奥底でみんなをうらやましく思ってたと思う  
病気になってやれることが減ってく中でみんなどんどん成長してく  
みんなはひとりひとりそれぞれ色があって  
自分にはなかったように思う  
文句言いながらも練習メニューをこなすみんなの姿を見て  
練習だけで疲れ果ててしまう自分がいて...  
さいごまで一緒にやり通したかったなあ  
オランダ遠征でもコーチは病気の事知ってたから出場時間が少なかった

病気を恨んだりはいらない

でもやっぱり悔しい

途中でサッカー部に自分の居場所なんかないんじゃないかって思うこともあった  
それでも  
みんな退院してきた俺を暖かく迎え入れてくれた  
病気の事黙ってたのは  
みんなを不安にさせたくなかったっていうのもあるけど  
一番に病気をいいわけにしてくれなかっただけ  
言っちゃえば楽な思いもできたはずじゃない  
でもそれは俺が望むことではないからしなかった  
やっぱり最後までやり通せなかったのは悔しい  
でもこんなにすばらしい仲間たちに出会えて本当によかった  
みんなは俺の永遠の宝物です  
ほんとにありがとう  
ありがとう

-----  
2007 5 06(Sun)☺  
-----

## 受け継ぎ

昨日は日記書くの1時間半かかりました

みんな読んでくれたかなあ...

まっみんなにメール送ったからたぶん大丈夫だなッぽ

コメントと返事くれたヒありがとうねッ

2年生にも一人一言書きたかったけど大変なので...

ヒ世話になったなッありがとう

とくに駿太をはじめとする新津組の貴之と虎次郎なんかには心配かけました

林もいつも声かけてくれてありがと

ってこのままじゃみんなに書かなきゃいかんくなるからこの辺でッ

ヒは

いつ死ぬか知ってる!?

鉄砲で頭打ち抜かれた時!?

病気に負けた時??

猛毒のキノコスープを飲んだ時??

ちがう

ヒに忘れられたときだ

俺らの夢はここで終わっちまった外、受け継ぐものがいれば報われる

誰にも負けんなッ

じゃッ

2007 5 07 (Mon)

## 部室

今日部室に行くとすでに 年生が入っていた

もう引退しちゃったんだなあって改めて思った

まだみんなとサッカーしたい

選手権残ろっか

でもみんな残れるわけじゃないし

俺が残るって言ったら、みんな残ってくれないかなあ...

てか身体がうまく動くならもっとサッカーがうまかったなら

選手権に残りたいってのが俺の思い

こんな身体だけど誰かが背中を押してくれたら...

残りたい

やっぱりサッカーが好き

引退した今も

サッカーが恋人

2007 5 08(Tue)

## 想い

想いは時に 自分を苦しめる  
自分が サッカ- 上手ければ  
身体が 動くなら  
私は ずっと ボールを 追いかけてたい  
最後まで やりきれなかったコト  
やっぱり 悔いている  
神様  
いや 誰でもイ  
私の 背中を 押してください  
すばらしい 仲間と 離ればなれになるには  
まだ 早すぎる  
背中 押してください  
やっぱ 辛いかなあ  
惨めかなあ  
でも こんなに  
サッカ-が 好きな  
自分が 好き  
すばらしい 仲間  
に出逢わせてくれた  
サッカ-が 好き  
そして サッカ-に  
一生懸命な 仲間たち  
お前らが 大好き  
そうだ 大学でも  
サッカ-を しよう  
一生 サッカ-を  
続けよう

我愛蹴球

---

2007 5 13(Sun)

---

## 振り返り

もう  
振り返らない  
前だけを向いて  
進んでやる  
ただ  
前だけを見て  
もう二度と  
振り返らない  
絶対  
いつまでも  
ここで  
止まってちゃ  
だめだ  
立ち止まってるのは  
もう  
おしまい  
  
進め

---

2007 5 17(Sun)

---

## 幸せ

幸せになる  
泣き虫が 小学生の時から治らない  
そのくせ こう見えて めちゃめちゃ プライド高い  
まあ 男のでも 泣くことはあるのです  
男のが プライドを失ったら 生きていけません

-----  
📅 2007 5 18(Fri)🌐  
-----

## 選手権

「選手権残るの!?!」

ってよく聞かれる

昨日は先生にも聞かれた

俺の気持ちとしては

大学受験を見送るわけだから残りたい

しかし体調が\*\*

それに

体調がよかったとしても戦力にならない

それが現実

それでも残りたい

だからこの期間でどこまで体調が戻るかが鍵

ほかのやつはどんだけ残るかなあ

チームのお荷物にならないかなあ...

てか体調戻って欲しい

---

🌐 2007 5 20 (Sun) 🌧️

---

## 望み

私が望むコト

そんなに

大きなモノではナイ

しかし

なかなか手には入らない

つらい

でも

しょうがないのかなあ

とにかく

がんばらないと🙄

今日は

日曜だってのに

好きなコト何もしてない

好きなコトできるようになりたい

それが今の一番の

望み

---

2007 6 05(Tue)

---

## もしも...

もし自分が病気じゃなかったら  
この三年でどんな成長をいただけるか  
人間として高校生としてサッカープレイヤーとして...  
今と同じような成長はなかったと思うし  
それでも違う自分になった気がする

病気もういや

---

2007 6 05(Tue)

---

## 行きたい

学校行きたい  
文化祭行きたい  
打ち上げも行きたい  
最近何だかツイ  
助けてほしい

がんばる



2007年6月8日 文化祭 やっと半日登校

---

2007 6 19(Tue)

---

## 大好き

昼休みにサッカーした  
ちょっとしか動いてないのに  
すぐに息が上がる  
終わった後は  
ものすごい疲れが  
「ドゥ」とおしよせてくる  
そんなト  
分かってる  
「無理すんな」  
って  
言われても  
根っからの  
サッカーバカには  
そんな声は  
届かない  
ボールを目の前にして  
はしゃがないでいれるほど  
私は  
できあがった人間ではない  
もちろん満足行くプレーなんて  
できるワじゃない  
でも  
ただひたすら  
夢中になって  
ボールを追いかけてる  
昔から変わらない  
私が追いかけるのは  
サッカーボール  
ていうか  
最近  
頭から  
離れない

気がついたら  
いつも  
考えてる  
見てるだけで  
どこからともなく  
不思議な感情が  
こみ上げてくる  
近づくだけで  
止めどない興奮  
絶対に  
手放したくない  
誰にも  
負けたくない  
そんなくらい  
好きです  
大好きです  
サッカーが🏈

-----  
2007 6 25 (Mon)   
-----

## プロ

人生で初めて口にした将来の夢

「サッカー選手  

なぜか今でも忘れない

幼稚園のとき

なんでもイからって将来の夢をいわされた

当時サカ-なんてやったことナ

まともに見たことすらない

そんな少年が

ただ下半身を使う球技がなんとなくカッコよくて

んでその2、3年後にサカ-と運命の出会い

それからサカ-ってものが何よりもカッコイイと思ってた

もちろんそんな札は小さい頃からプロには

少なからずあこがれてたわけ 

でも、口にはしなかったなあ...

へたくそで自信がなかったが

誰かに笑われんのイヤだったし 

まっつーことでプロへのあこがれは

恥ずかしながら今でも持ってるってワ

まっプロでなくてもサッカー続けてりゃそれでイだけど

でもプロってサカ-してりゃ金入ってくるわけだから

金払ってサッカーやってる俺らにとってあこがれなわけ 

そんなあたりまえなコ言って札はバカだなあ 

まっ男のコは夢を見失ったらおしまいですから 

いつまでこんなコ言ってられるのかなあ... 

2007 6 27 (Wed)

## 運命

あなたは運命って信じますか

運命なんて変えられない

でも未来は変えられる

そう思ってる

矛盾してるかなあ...

それでも変えてみせる

いまはきっと歯車が上手くかみ合っていない

いつか変わってみせる

だれにも負けないやつになる

それはそうと

運命がって思う出来事ありました

単なる偶然だと受け流してしまえばそれまでのこと

でもちょっとだけ期待した

さきゆうけどアノ人は関係ないから

消せない記憶、起こりつつある現実

いつまでも、手に入らない欲望

受け入れなくてはならない運命

悔しいけど今がこうある以上

変えられる遠い未来のために

もうちょいがんばってみる

そのためになにができるか...

もうちょい明るい日記書いてえなあ



足摺岬

2007 7 10(Tue)

## 新津のエース

今日はなんと

新津中元サッカー部の2人のエースストライカー  
牧野雄太と西尾慧祐の誕生日です

二人ともハッピー

まあなんか納豆の日ってことでなんかすごい覚えてた加

牧野雄太

彼については今でも言わずとしれた俺らの隊長的存在  
俺にとって一番長い時間一緒にプレーしたかけがえのない仲間

本人気づいてないかもしれないけどいつも気にかけてくれた

牧野と私の最初の思い出は少年団に入った私を  
ちょっとからかって廊下追い回されて教室に逃げ込んだら  
そこにいた瀬崎っていうめっちゃ怖い先生に俺だけ怒られるってゆう  
アイツは覚えてんのかなあ

んで牧野は私がどんなに無理なスルーパスを出しても必ず追いついてくれた  
だからボールとられそうなき時も何よりも信頼してパスを送ってた

牧野は未だに小学校のシャトルの記録保持者らしい

とにかく足が速くて持久走はいつも一番走ることとサッカーが好きないつでも私のちょっ  
としたヒーロー

入院した時もおまえの為に30分くらい料金も気にせずずっと電話しててくれた

電話したのは親と姉ちゃんと富田と健吾と章浩のワコとダ 伴と鷲巣先生

あの長い入院の中では少なかったけど誰よりも長く話してくれた

もちろん他の人もありがとう

んで、なんと言っても牧野とのサイコーの思い出は  
2007年5月5日、浜松南 vs 浜松北  
何も言わずただ私に「おまえの練習着貸して」  
と一言、それをユニフォームの下に着て試合に出場

最初は何してるか分からなかった

その答えは彼がゴールしたときに分かった  
ゴールパフォーマンス



ユニフォームを脱ぎ、下に着ていた札の練習着を  
大きくこっちに掲げている

「おまえのためにおまえと一緒に点取ってやったぞ」  
って言ってるように見えた

それは病気で練習になかなか出られなかった俺にとってサイコーのプレゼント

日に日にそのありがたさは大きくなります

いまでもその姿は札のケータイの待ち受けです

できればあと半年おまえと一緒に最後の国立目指したかった

でもお前と一緒に誰よりも長く一緒にプレーしたのは俺の誇りです

ありがとなッ

西尾慧祐

俺の目の前に彗星のごとくあらわれた

小 の四月

「砂丘のうまいフォワードが新津にはいるんだって」

それが西尾だった

アツのデビュー戦はいまでもわすれない

予選から強豪チームに当たってしまい0-2で負けている

そんな試合に途中出場したあいつはもの見事に

2点返して試合を終えた

それからは家が練習会場の通り道ってことで

自転車で俺んちまで来ていつもあるいていっしょに練習に行った

中学に入って急に冷たくなり一時期いじわるなことされることもあったけど  
いまではそれも思い出です

そしておれがめっちゃめっちゃ欲しかったものを諦め切れた頃に  
いつの間にか手に入れいつの間にか手放してやがる

まあそれが何かは言わんけど

とにかくいろんな意味で悔しかったなあ...

んで、一番記憶に残る試合は同じく 2007 年 5 月 5 日  
浜松南 vs 浜松北  
防戦一方になりかけていた浜松北でまたも途中出場

入った瞬間流れが変わった

そして鮮やかなのボレーシュートをきめ点を取った



大事なところで結果を残せるアイツが 3 年たったその時そこにいた

だからあの試合は人生で一番記憶に残る試合

引退試合ってのもあるけど一生忘れない

俺の目の前で誰よりも多くのゴールを生み出した 2 人は  
いまでも俺のヒーローです

新津のエースストライカー

浜松南北のエースストライカー

俺の中での永遠の二人のヒーロー

18 歳の誕生日

おめでとう💎💎

二人がこの日記読んでるといいなあ...

じゃば

-----  
2007 7 15(Sun)☺  
-----

## デブ

俺がもしも病気ぢやなかったらってゆうのは

デブがもしも太ってなかったらって言ってるのと同じ

運命だから受け入れなくては

ろくなコトはこの世の中

少しでも楽しくなればいいのに

普通に生活してくの結構もう限界なんだよね...

いくらがんばっても結果出てこないし...

まゝ頑張り足りないっていうならそれも否定できないが

がんばることは無理をすることではない

そんなんだから追い込まれる

いくら困っても誰も助けてくれないし逃げ出すこともできないし

じぶんでどうにかするなんてもっと無理

ワガママだけ言って生きても満たされないけど

もうワガママだけ言って生きていたい

また迷宮



修学旅行の沖縄にて

---

2007 7 15(Sun)

---

## オランダ

最近内容が後ろ向きだからとりあえず今日の日記書き直す  
最近なんかなんでも1時になぜかみんなで行ったオランダのことを思い出す



練習試合のピッチ観光で行った街、別に興味があるわけでもない美術館  
アムステルダムのアヤックススタジアムのピッチや観客席、記者会見の部屋、  
観客席近くのエスカレーターから見える練習場やファンショップ  
一週間寝泊まりしたホテルの部屋や食堂やシャワールーム  
ヤンと過ごした練習場  
暗い中で待ち続けたトイレ付きのバス  
試合後でぐったり疲れたバスの中  
みんなではしゃいだバスの中



びしょびしょになった練習試合  
ド広いスタジアムに満員で埋まる観客席  
眠くなりながら見た試合観戦  
肉を食べたレストラン  
街の真ん中で華麗にリフティングをする小柄な人



間違えて買って来た炭酸水  
いろいろ買ったスーパー  
町中でみんなに配られるボール  
いつまでも迷って買ったおみやげ

どの会場に行っても必ずついているロッカールーム  
今となっては昔のこと  
でもすごく楽しかったからいまでも何でもないときに思い出す  
また行きたいなあ...



将来アヤックスにでも入団しよっかなあ...ワ  
あのスタジアムの真ん中に立って満員の声援受けてプレーしてみたいなあ  
他に好きなクラブいくらでもあるけど  
別にアヤックスファンで訳でもないけど  
あのスタジアムが満員になったところを  
ピッチからユニフォーム着て見上げてみたいなあ



最近夢が膨らむなあ♡  
今日から毎日日替わりで将来の夢を発表しよっ

今日の将来の夢アヤックス入団

初日にデカイ夢だなあ

明日はもっとデカイ夢を見るぞっ

てかみんなぜったい一緒にオランダに行こうなあっ

---

2007 7 19(Thu)

---

## だめだあ...

明日は行けそうにない...

しばらくみんなに会えないと思うと

寂しいです

お見舞いきてください

富田 CD 返せなくて

夏休み補習の後とか気軽に俺んち寄ってくれてかまわんから

今日の将来の夢居酒屋でふつうに一杯やってるのにでもいるような

やっぱ一回はやってみたい

理想低いなあ

じゃ

2007 7 20(Fri)

## 終業式

とうとう一学期が終わりました  
今学期学校に行ける日は少なかった...  
それでも人の温かさにふれることのできる学期でした  
学校に行けば当たり前のように毎日話しかけてくれる友達がいる  
そんな当たり前のことがすごくうれしかった  
心ない言葉を投げかけて来る人が減り  
ただ「明日も来いよ」  
そう言ってくれる一人でも多くの友達がたくさん周りにいる  
そんなことがすごく幸せです  
会話をしているときに聞き取りにくい声と発音に  
いやな顔一つせず真剣に聞き取って  
笑ってくれた友達に感謝しています  
もちろんそんな友達に何かお返しをしてあげられたわけではない  
でも元気になったら必ず恩返ししたい強くそう思います  
元気なときもそうでないときも変化することなく流れる時間  
それは自分から様々なEノを奪い様々なEノを与えてくれた  
それがありがたいことなのか恨むべきことなのか分からない  
でもせっきやく起こったことなら感謝した方が得なのかも  
こんなに苦労するならいらなかったと思うEノはたくさんある  
でもせっきやく苦労してまで手に入れたのだから  
絶対に手放したくはない

今日の将来の夢  
大人になって友達への恩返しをしている自分

お見舞い待ってます

じゃ

2007 7 21(Sat)

## きつい日

今日は一日かなりきつかった

まあこんな日もあるさ

夜アジアカップ見た

川口はやっぱ守護神やあ

高原はPK はずしたけどやっぱエース

サッカーはおもしろい

最近寝付きまぢわりい

本当にツラくなったとき

支えてくれるモノがある

一人じゃない

だから頑張れる

頑張らないといけない責任がある

いつか幸せになれる

いまは強がってでも前に進む

心が折れてるときも

同じト言えるようにつよくならなきゃ

今を華やかに過ごすスポーツ選手は

引退後人一倍色あせてしまうかもしれない

それならいまを輝けない自分は

将来人一倍華やかに見えるようになれるかも

この夏休みも我慢が必要な休みになるかもしれないが

今は全く見えてくることはない将来が華やかであることを信じて頑張るしかない

いま自分が言える精一杯の強がりだけど...同じ言葉を

自信を持って語るようになることを信じていかなきゃ

強がりから強いに代われる日がくるのを今は待つ

今日の将来の夢

強い

じゃ

2007 7 22(Sun)

## サッカー部

の

集まりがあったんだって

欠席しちゃった

今しかできないこと今だからできること

そんな数少ないことに参加できなくてちょっぴり寂しい  
やっぱり一緒にいられる貴重な時間少しでも長くなるように  
大切な今を全力で生きて必死になって治さなきゃ  
やっぱり今しかできないことができなくて後々後悔するのも  
今ツライ思いするのもイヤだから  
とにかくはやくなんとかしたい

でも焦ってはいかん

むずかしい

だからおねがい僕のそばにいてくれないか  
君が好きだからこの思いが君に届くように  
願いが叶いますように

うざいっておもわれるくらいずっとそばにいて  
バカだって思われるくらい笑って  
勘弁してよって思われるくらい大切に

そのための我慢

今日担任と保健室の先生

見舞い来た

ありがたい

まあわりと調子がよいときに来てくれてよかったわ

暇なら来てね

メールとかも待ってますが勉強の息抜きにでも

ちゃ

2007 8 16(Thu)

## むずかしい

まちでわからん

無理はよくないでも無理をしなきゃ前に進めない気がしちゃう  
私はこんなせいかくだからいくら無理しなくていいよって言われても

無理をしないことより無理をしてでも前に進もうとしてしまう

だから自分がやってることは無理をしてるのか

そうでなくて前に進むためにしてるのか分からない

できることは自分でやりたい

できないことは手伝ってもらいながらやればいいんだけど

手伝ってもらうのは迷惑をかける気がしちゃって...

最近何も手に着かない時間がある

何かをするのがいやだし、何もしないのもイヤだ

本当にその時点で自分がそれをやりたいからやってるのか

義務感から無理してやってるのかさっぱり分からなくなる

そんなときどうしたらいいんだろう

無理をしないってどうゆう意味!?

今日の将来の夢

迷わない自分

なんかかけえ

2007 8 17(Fri)

## あこがれ

今日

朝はめっちゃめっちゃ体調がよくて

昼に体調を崩してしまった

そんなときなんと

私の病室に

あの有名で

まぢでサッカーがうまい

大好きなチームの

あこがれの

プロサッカー選手が

訪ねてきてくれた

まぢビックリ

まゝ誰かは言わないけど

そのときはとても立てるような状態じゃないけど

そんな時はもう舞い上がっちゃって

ウキウキで

立って写真撮れるくらいうれしかった

信じる信じないはあなた次第

嘘だと思えば

写真見せてやる

まゝしばらくしたら私にも貼るし

楽しみにしててや

めっちゃ自慢しまくるかな

ぢや

2007 8 18 23:10

## 鈴木秀人



個人情報の問題で  
やたらとややこしいから  
病院から口止めされてたけど...  
本人に聞いたら  
別に隠す必要はないって  
言ってくれたから  
言っちゃう♡  
実は...  
昨日訪ねてきてくれたってのは  
ジュビロ磐田の  
鈴木秀人  
なのね♪  
まあ昨日はちょっと大げさに表現したけど...ワ  
今のちょい失言だわ♫  
まあでも彼ならきっと許してくれる  
友達になったし♡  
まぢでイ人♡  
ってゆうのも秀人が怪我してたまたま  
同じ病棟に入院してきたんだ♡  
だからよる病室まで会いに行っちゃった♡  
サインとかめっちゃたくさん書いてくれた♡  
まぢイ人♡  
そんでちょーし乗ってアド聞いちゃったりした♡  
まあ冗談でだけど♡  
そしたらなんと巫だって♡  
うそみたい♡  
まぢ感動よ♫

ケー番まで教えてくれるってゆう♡  
そんなんもう友達以外の何でもないぢゃん♡  
とにかくまぢイ人♫  
惚れる♥  
奥さんがうらやましいってゆう♫  
私も秀人みたいになりたいなあ  
プロサッカー選手で  
人間的にもまぢですばらしい人  
しかも約束した♫  
つぎに診察来たとき一緒にウイ化やるんだもん♥  
まだまだ自慢話つきないわ♡  
とにかくいまの憧れの人で尊敬する人で目標とする人は  
鈴木秀人  
てかおれ秀人になるわ♫  
  
今日の将来の夢  
鈴木秀人♥  
  
まぢ浮かれすぎ♡  
  
おやすみ♡



2007 8 18(Sat)

## 元気

さいきんまち元気  
いいこと続き  
秀人とは友達になったし  
悩みは解決した感じだし  
森と今田とおやじは来るし

このまま退院できちゃうかもって思っちゃうくらい

まちしあわせだわ

あと

森

今田

おやじ

追記

半角英数 4 文字だで

むりだわ

せっかく合い言葉まで決めたのに

なんか残念ってゆう

さらに交流深まった感じ

だったのに

また来て

じゃ

---

2007 8 19(Sun)

---

## 自慢

朝から、ずっと秀人が一緒にいてくれた

自慢話はつきないので聞きたい方は

メール

電話

面会

いずれかの方法で会いに来てください

んで午後は家族めちゃきた

弟はなにげ初ってゆう

でもぶっちゃけあいつ疲れるからなあ

来ない方がいいかも

でも明後日も来るってさ

まあどうでもいいけど

とにかく

まあ充実した一日でした

今日の将来の夢

一人

でごめんなさい

じゃ

---

2007 8 24(Fri)

---

## 分かっちゃった

あい しばらく 〃=とくてんつき きのせい いしゃになれたらくろうはしない

これが分かればあなたはホントに頭がいい

---

2007 8 25(Sat)

---

## 分かっちゃった↪↪

私は死んでるかもしれないから

ずっと答えがでるまで考え込んでしまった

考え込んでしまったからわかってしまった↪↪

昨日の日記の意味

この意味が分かったかったら

私がいつ死ぬのか

だいたい分かってしまう

---

2007 9 08(Sat)

---

## 久しぶり

落ち着かないのでみんなにメッセージをがてら日記を書くことにします

出会ってきたみんなに本当は一言ずつ伝えるのが一番だけど

この場を借りてしか言えない言葉なので

とっとと伝えてしまいます

みんなありがとう

とはいつでも別に変な意味はないから気にしないでね

じゃ



---

2007 10 06(Sat)

---

## 復活

死んでるかもしれないと言ったけど今の俺じゃありえないわ

だってなんか元気になって来ちゃったんだもん

だから安心して下さい

もう死んでるとか言わない

みんなとオランダに行くために

待ってる 31 人で

あとヲも連れてってやろうぜオランダに

今日の日記サッカー部全員が読みますように

あと管理人のくせにたまに日記さぼるかもだけど許してや

じゃ





2007/10/09 20:27:00

健吾へ

健吾と初めて会ったときは.....あんま覚えてないや(笑)でもたしか春休みん時に部活行った時だよ...だから 年ん時同じクラスになって、自分の最初に出来た友達が健吾だったと思う。

健吾は子供っぽいというか無邪気でそんな性格だからすぐみんなと仲良くなって.....人見知りする自分には結構羨ましくて、でも健吾がいたから間に立ってくれたから自分もみんなと仲良くなれたよ。ありがと.....

部活のことに話を変えるでね。健吾はいつもあたり弱くてスピードも体力もね.....だったから大丈夫かな??とかたまに思ってた。けど自分も健吾と外周おんなじくらいだったからね.....お前には負けんみたいな感じで言ってた気がする。今考えるとホントにあん時の自分はバカだったよ.....健吾の辛さなんか全然知らなかった。情けないな.....ごめんよ。健吾とはやたら恋の話をしまくったよな。告白しろよ!!とかどんくらいメールしてんの??とか話出したら止まらなかったのを覚えている。オランダ行った時もさ~~お土産どうすりゃいい??とか言っきて.....健吾とコバと 人でバスん中ずっと話してたな。ホント楽しかった。

健吾とサッカー出来てよかった。あの頃にはもう戻れんけど、お前と一緒にボール追っかけた時間はかけがえのない宝物だよ。絶対に忘れない.....自分ん中でずっと輝いてるから。信じとけよ!!笑

ホントに本当に楽しかった。心から感謝してる。ありがとう健吾といた時間はホントに短かったけど...心に残ることばっかだったよ。本当に楽しかった.....

ありがとう

健吾がサッカー大好きなのと同じくらい自分も健吾が好きだぞ。一生忘れない。健吾の事も、健吾との思い出も。

サッカーも絶対お前のこと好きだからな!!羨ましいぞっ(笑)

自分は健吾の分まで生きるから!!誰もがそう思ってるよ...でもそれに疲れてよぼよぼのじいさんになって、そっちいったらまたみんなでサッカーやろうぜ。絶対だかな!!

本当にありがとう。自分と出会ってくれてありがとう。

浜南サッカー部最高!!健吾最高!!

んじゃな.....バイバイ

2007/10/10 23:26:00

健吾へ.....昨日は気が動転しちゃってなんもできんかった。本当は昨日いいかったんだけど今日伝えるわ。一日たてば少しはましになるかとおもったけどむしろその逆でどんどん悲しくなってくる。昨日よりも今日、たぶん今日よりも明日のほうが悲しいのは健吾の死というものを身をもって実感してきているからだろう。昨日あれだけ泣いてももう泣かないって決めたのにいまだに涙がとまらない。おまえはわからんけど俺にとっては健吾はこの南高に入ってから一番始めにできた友達だった。だからこそおまえには学校生活でも部活でも思い入れが一番強い。お前はみんなに助けられてるとか言ったけど、俺だけは違って、不器用でおっちょこちょいの俺はいつもお前に助けられてた。おまえは適当にやっても何事も人並み以上に出来たし、なにより1番うらやましかったのはおまえが誰とでもすぐ仲良くなっちゃうところだ。おまえは名前さえも知らない人ともすぐなかよくなっちゃうんだもんな。ほんとびっくりだよ、人見知りの激しい俺にとっては羨ましいかぎりだった。たぶん健吾の人間性にみんな引き込まれてたんだよ。俺もそうなんだけどね。おまえの弁当のデザートもよくとりあったよな(^-^)おまえのなのになね！

俺はばかだからお前がこんなことになるなんてこれっぽっちもおもってなかった。お前の学校での振る舞いをみていると、とてもおまえが重い病気を持っているとは思えなかった。俺はおまえが苦しい病気と戦ってたのになにもしてやれなかった。本当にごめん。

おまえは最後までホントにかっこよかった。痛みをかかえながらも俺らになんの不安も見せず、前だけを見て走っていた。俺もこれからはおまえみたいにみんなに慕われるかっこいい生き方をしたいと思う。お前は俺の目標だ！！そしてお前はこれから俺のなかでずっと走り続けるんだ。俺がお前に追い付いたとき、俺は初めておまえみたいなかっこいいやつになれるんだ。お前は俺のなかでずっと生き続けている！！

ずっと友達だからな

2007 10 10 (Wed)

書くの迷ったけど俺書きます。読んでくれたら嬉しいです。

あいつと出会ったのはいつだっけ!?多分入学当時の春休み。かな、?

初めて見たときサッカーできるの?って思った。

正直1年のときはあんまり一緒にサッカーはしてなかった。

あいつと仲良くなったのは2年になってから、2年になってから1対1やりフティングとか一緒にやって一緒に笑って過ごした。

覚えてるかな!?部活であいつだけヘディングリフティングできなくて俺と50回やってみんなと喜んだこと。奇跡に近かった。

あの時のことははっきり覚えてる。

この頃から男クラとカラオケ行くことが増えた。

こんなことがあった。

男クラのやつが替え歌作って歌ったらめっちゃ怒って帰っちゃった。

その時は深く考えてなかったけど、今思うとあいつが辛かったのがよくわかる。

一大事にはならなかったけど、ごめんな。

あいつと過ごした修学旅行。朝遅刻してきてすげー心配した。

でも途中までは元気で安心してた。終わりの方はマジでヤバかった。

夜はしっかり寝るべきだったでしょ!?でも帰りのバスの中はめっちゃ盛り上がった。

すげー安心した。

この頃からだった。学校に来ない日が増えたのは。

正直俺もそうだったけど、何で来ないんだよ、と言ってるやつが多かったと思う。

あいつのこと何にも知らないで。

オランダではまったくそんな気配がみられなかった。

いや、みようとしてなかったのかも。

部屋でいろんな秘密話したり、殴られたり、歌聴いたりすげー楽しかった。

口げんかとかよくしてた。

そんでいつも負けてた。あいつ強いだよ。あんなに細いのによ～何度も何度も俺に勝負仕掛けてきてさ～バカじゃねの!?って何度も思った。

けどあきらめずに追いかけて来た。つらそうだったよ。すげーつらそうだった。

それみたら逃げることでできなかった。

2年の3学期になるとまったく見る回数が減った。

この頃やっとみんなヤバくね!?って思いだした。

部活にもなかなか出れなくて3年になり、とうとうインターハイを迎えた。先生からあいつの話をきき、事の重大さを理解した。

最後の試合、あいつ見に来た、あいつ得点決めちゃったよ。

夏を迎え、あいつが入院することを知った。  
言うけどあいつ選手権残ってたから選手権の最後の試合、みんな見に来てくれた。  
もちろんあいつも。  
俺あいつにごめんしか言ってない。  
本当にごめんな。  
あいつを最後に見たのは体育大会。  
少しだったけど来てくれた。すごく嬉しかった。  
そしてあいつが本当に本当に最後に俺に言ってくれた言葉。  
上手く声がでない中、弱々しく言ってくれた。

## 「ナイスラン。ありがとう」



これがあいつと俺。上手くまとめられなかったけど、まだまだたくさんある。つまんないと思うけどあいつと過ごしたことが大事にしたいから。だから書いた。

あとがきにかえて

鎌田 實先生へ。

拝啓

季節は秋から初冬へと移って行きます。

私の大好きなコスモスが盛りの 10/9 に健吾は旅立ちました。コスモスが風に揺れると癒された気がしました。そしてコスモスの優しさ・強さが健吾と重なります。

一見すると弱々しいイメージの花ですが、台風のような強風に細い幹をしならせて、倒れそうなのに持ち堪えてしまう、そんな雰囲気似通っていました。

8/4 静岡に、健康講座にお越しの際に健吾の事を相談に乗っていただきありがとうございました。H・19・8・15 にお便りさせていただいたと記憶しています  
その後、先生から直筆のおはがきをいただき感激しました。

『すごい子です。 サッカーと仲間は宝もの・・・・・・・・』

そのはがきは棺に入れました。健吾にとって、サッカーと仲間は、本当にかげがえのない宝物でした。そして無形であるそれらは、あちらの世界にも持参できたと思います。

ご多忙な先生宛に、大変恐縮しますが、どうしても聞いていただきたいことがあります。

病とわかってから、旅立つまでに何度かピンチがありました。しかしその度に、乗り越え命を繋いできました。

健吾は自分の生き方に誇りを持っていました。

そして治ったら本にする気持ちでいました。映画やドラマになったら主人公は自分が演ずると冗句とも本気とも受け取れることを言いました。ですから、一層 最期の時まで、燃え尽きるように生きたのかもしれない。

H・19・8・15 に彼は私に、どうしても言っておきたい事があると言います。

『母さん、今迄サッカーをやらせてくれて、ありがとう。ホント母さんには感謝してるよ。』

『こんな事は言いたくないけど』と前置きをして、・・・・・・・・『もしもオレが死んだら、母さんは病気の事を自分のせいだと自分を責めると思う。だけど、絶対、オレの後を付いて

きちゃダメだ。約束してほしい。』と、指きりさせられました。

《 Jリーガーが、お見舞い 》

8/17にJリーガーが健吾の個室に見舞ってくれました。Jリーグチームでは、一番近いジュビロ磐田の鈴木秀人選手<ゼッケン2>でした。

8/15試合中に右目負傷して、健吾と同じ総合病院に入院してきました。サッカー好きな学生がいると言う事を耳鼻科の先生やスタッフが伝えてくださり、ご好意により、実現したものです。

健吾はかなり驚きそして喜びました。

痛みを忘れ頭がボーッとなり到底立ち上がれるような状態ではなかったにもかかわらず、立ってしかも、笑顔で秀人と写真撮影しました。

本当に心の力は常識をはるかに超えます。

現役のJリーガーが自分を見舞ってくれ言葉を交わすなどは、夢の夢…まぼろしです。それが、いきなり現実に起きたとは、あの子にとって、一番ステキな夢を見た心地でしょう。秀人は実に優しい人柄で、心から健吾を心配してくれました。その後も何度か足を運んでくれました。

丁度訪ねていただいた時に不在で、今一度秀人に会いたいと伝えと、ジュビロのクラブハウスに、招待してくれました。

9/18AM 健吾の大好きなゴン中山や、川口能活や、日本代表の前田遼一等、たくさんの選手と一人一人握手をし、ボールに全員がサインをくれました。チームの仲間に頭を下げて話しをしてくれたのは、秀人選手です。

こんな事は、長く人生を歩んでもそうそう起きうる事ではありません。

たくさんの方々の、暖かいご好意に本当に感謝しています。

《 9/8~10/9 自宅にて 》

9月になると、自宅に帰りたくなる。しかし、痛みや体調の加減で、なかなか外泊許可も下りません。9/8・9にやっと許可が出て自宅で眠る。「もう、病院に戻りたくない。」と語る。

9/10 病院での診察時に、本人の希望により、退院させてほしい旨を伝えて実現する。

9/16(日)高校選手権の応援に、静岡市三保へ。 南校对清水東戦観戦。

南校が破れ、残っていた3年生4人も引退。

行きはマイカーでやっと行きましたが、南校から3年生バスが出ていた事を知り帰りには、そのバスに乗りたがり実現しました。3年生の部活仲間と共に居ることが、最高の幸せ。

【自分は、何も語らなくても、傍にいて皆がワイワイしゃべっているのを聞いているただそ

れだけでいい。】が生前の口癖でした。

入院中、健吾が秀人に「仲間全員にあげたいから」とお願いし、快く書いてくれた30人分のサインをバスから降りて手渡しをする。この時、自分の役目を果たしたような満足感があふれていました。

痛みで苦しい中、ご祈祷したお水をいただくと和らぐようなので、9/18 PM 思い切って、ご祈祷を受ける。

そこで、自分の命に繋がる先祖供養の重要性を聞き、彼一人で階段を下りる事がなんとか可能だった間は、毎朝務めとして線香をあげていました。姉弟にも先導して教えていました。線香の煙は供養になると聞いています。

亡くなる2日前に自ら来店し、購入したジーンズが、自分の旅立ちの服装となりました。他に、お土産秋葉原のピンクの萌えTシャツ・オランダに着たパーカー本人が揃えて動物園にも、着て行きました。

秀人が試合に使用していたロゴ入りのユニホーム < 健吾くんへ > と書かれたサイン入りのものを棺に入れました

自らが男児の父でもある秀人さんも、さぞ心を痛めたことと思われます。

シーズン中のご多忙の中、健吾に夢をあたえてくださりありがとう。

健吾に成り代りお礼を言わせていただきます。

#### 《 10/8 亡くなる前日の午後 》

朝は、バケツをひっくり返したような大雨でした。

午後になり雨が上がり、大観覧車の最上で写真撮影したいとの、かねてよりのリクエスト。豊橋市の二川動物園に、父母と彼の3人で出かける。最後の小さな旅でした。

動物園からの帰路が、きつそうでした。

帰宅すると、「母さん、着替えて、トイレ済ませた方がいいよね。」と聞き行いベッドに横になる。

救急外来に行くことも、勧めましたが痛いわけではないからと、はっきり言いました。

真夜中 10/9 に日付が変わり、ベッド両側に両親が床をしき見守っていたが、急に心拍数が減り、心臓停止。すぐに、救急車を呼ぶ。・・・・・・昇天。

結局、健吾は全ての事を、自分で片付けていきました。

私達に、世話をかけない形でした。

また、死の直前までその気配を感じさせませんでした。

きっと彼には、わかっていたと思います。

何も語らず眠るように旅立ったのは、私達に対する深い思いやりだったと思います。

彼が望んでいたように、自らのベッドから旅立ちました。

毎日、痛みや精神的に追われる苦しさを、目の当たりにして、親が子供に執着する気持ちを解き放そう。それで健吾が抱えている物が少しでも軽くなるのなら・・・と、

8月のお盆の頃に、私は、彼にこう伝えました。

『母さんは、あなたと別れるのは、本当は、イヤだよ。でも、自分の人生なんだから、好きな方を選べばいいんだよ。逝きたくになったら、母さんは止めないからそうすればいいよ』と・・・。

また、健吾が苦しい時、私は彼に言いました。

「健吾は、母さんの大事・宝物・ありがとう」と・・・。

彼自身が、この言葉を繰り返すことにより、不思議と事態は改善されました。

入院中は、何度も遭遇しました。

私達は、知った情報や、限りある財源の中で、思考を重ね、思い付く事や届く範囲の事は、真剣にかつ前向きに取り組んできました。それについては、悔いのないつもりです。

しかし、到らなかった事を、点検したりします。

全てと思われる事をして、結果、健吾は旅立った。

ですから、彼は本来、宇宙の中に、かぐや姫の如く、召される人だったと感じます。

そして、私という不出来な母を選んで生まれてきたのだと思います。

人は、生まれる前に、自分の人生のシナリオを書いて、それを消して生まれる。

だから内容は忘れてしまうのだそうです。

彼は、劇的な人生のシナリオを書いて生まれてきたのかと、思います。

先生に、お礼を言わせていただきたい事があります。

それは、現代医学の医師の方でこんなにハートのある暖かい思想の持ち主が、日本にいたと言う事が、私には大きな励ましになりました。  
先生の本に出会って”魂のケア・心の喜び・看護の姿勢”について、学ぶ事がたくさんありました。  
【がんばらない】できそうで、その実 難しい言葉です。

本当にありがとうございました。

通夜・告別式には、本当に大勢の人が、健吾の所に、お別れに来てくれました。  
私達夫婦は、人の多さにただ驚くばかりでした。  
健吾の気持ちになって考えた時、彼の大切にしていた部活仲間に彼の骨を拾ってもらう事を思いつきました。最期まで自分の事を認めてもらっていた仲間に、見送ってもらえました。

病にこそなりましたが、いろんな意味で恵まれていたことも事実です。

彼の周りには、この現代の住みにくい世相とは裏腹に、常にステキな友達がありました。  
途中から授業に出ても、その回りを友達が囲んでくれた事を伝え聞いています。  
休んでばかりいた彼が、たまに登校した時に、いつまた来るかわからないのに授業がわからないからと、大切なノートを貸してくれたこと涙が出ました。ありがとう。

納骨が済んだ今も、友人が、彼が亡き自宅を訪ねてくれ、線香をあげてくれます。  
親にも、口が重たい年頃の彼等が、学校から近いとは言え、なかなか勇気の要ることです。  
仮に私が友人を亡くしたとして、訪ねたくともそこにはおおきなエネルギーが必要です。  
高校生である彼等が、精一杯考えて、個人や仲間で、健吾と言葉を交わします。

【自分は、ただ話を聞いていて、その中にいるだけで満足】と生前言っていた事を伝えて、線香が消える位まで、それぞれの形で、過ごしていってください。

私は、本当に頭が下がります。自分ができない供養をこの子達がしてくれている。  
私達の哀しみを、この子達が分かちあってくれていると、感じています。  
訪ねてくださる全ての方に、幸いあれと願わずにはられません。

## あ り が と う

あまりにも早すぎた一生の健吾でしたが、濃縮された時間を過ごしたと思います。  
私達は、健吾を育てたことに、誇りを持っています。  
多くの事を彼の闘病を通して学びました。また苦しい中にも、普段は味わえないような感動を与えてくれました。  
私達の所に生まれてくれてありがとう。

彼の病を通じて人に出会いその心に触れて感じたのは、この世の中は、多くの心ある人が存在するという事でした。  
健吾の事を知った多くの人が我が事のように真剣にとらえ支えてくれました。  
事情を知った人の苦しみは、決して楽ではなかったと思います。

生まれてから17年過ごした所は、小さな円の中でした。

遠出したのは、高校2年・部活遠征で行ったオランダでした。  
当時の楽しさ・喜びが、最後まで彼の支えとなりました。  
4年後に部活仲間と行く約束のオランダの事を夢見て旅立ちました。

常に陰で支えてくださった方々の配慮のおかげで、最後まで彼の意志に近い形で、自宅で過ごし、また友人の励ましを受けながら、前向きに生きていました。

亡くなる数日前に、「卒業式を見てみたい。仲間が卒業して行くところを、**ただ見守りたい**」  
と言い残しました。

また、「生きてきて今迄出会った全ての人にもう一度会いたい。そして**“ありがとう”**が  
**言いたい。**」とも言いました。

私達親子に関わった全ての方に感謝の気持ちをお伝えしたいと願っています。

長い手紙に、目を通してくださり感謝しています。  
最後になりましたが、先生のご多幸をお祈りしています。

敬具。



全力で  走りぬけた  
 引はらひい青年  
 夢走 又バカリモ  
 詩の最後。ちか  
 つか、また ぬえそらに気かこする  
 つみ草 小川 長野県 健吾くん、ちか。 Kamata 制作 便利堂(京都・東京)









# 17歳で他界 ブログにつづった思い



「元気になったら必ず返返ししたい」。昨年10月、上咽頭(いんとう)がんのため17歳の若さで亡くなった浜松市南区米津町の藤田健吾さんが書き残した携帯電話用ブログ「KENGOALS」を、両親が自主制作の本にまとめた。健吾さんが浜松南高校(浜松市南区)2年の夏から亡くなる3日前までの日記がつづられている。健吾さんも出席を夢みた母校の卒業式は3月1日。本はこの日、同級生に配布するという。(報道部・原田遼)

## 南区の藤田健吾さん

共に会社員の父伸之さんと母恵美子さん(以下略)が、初めてブログを見たのは、健吾さんが亡くなった数日後。小学一年生から続けているサッカーへの思いや友人、家族への感謝がつづられている。

「普通じゃ登校するのも辛(つら)い治療をしながら部活に参加することもあった。長く休まなきゃいけないコトもあった。(中略)それでもサッカーが好きだから続けてきた。だからもう一度みんなと同じグラウンドに立つて同じ練習をした

のは、多くの同級生が簿の引退を決めていた三年春のインターハイ予選直前。すでに通院のため学校は休みがち。全員の痛みが走り、声もろくに交わらなかった。この日、予選二次リーグ最終戦。健吾さんが観戦する前に、小学生のころからコンビを組んでいた親友がゴールを叩き、健吾さんの練習相手だった。一瞬で練習になかなか出られなかった健吾(おれ)にとってサイコーのアレゼン(同年七月二十日)

「明日も来いよ。そう言ってくれる一人でも多くの友達がたくさん周りにいる。そんなことがすごく幸せです。(中略)今日の将来の夢。大人になって友達への恩返しをしている自分(同年七月二十日)

# 同級生へ最後のパス

ト。(中略)いまでもその姿はオレの携帯の待ち受けです。できればあと半年おまえと二種に最後の国立を目指したかった(同年七月十日)



17歳の若さで亡くなった藤田健吾さん(左)と母恵美子さんのブログをおさめた本を自主制作した父伸之さんと母・恵美子さん(浜松市南区米津町の自宅で)

## 両親が卒業式で400冊配布 書籍化

細らぬ人となった。恵美子さんは「短い一生だったけど、息子は思っていたと思う。葬式にもたくさんのお友達がきてくれて。鈴木選手も力をくれた。皆さんへの感謝を形にしようと思いました」と話す。

健吾さんの生きた証は約八十冊の本になった。三月一日の卒業式で、健吾さんの元サッカー部員たちから同級生約四百人に、ラストパス

# 生の証し ブログ1冊に

## がんと闘病…死 浜松南高・藤田君



# 「息子の夢伝えたい」 両親が出版 卒業式で配布

巣立ちの時を迎える若者に息子の夢を伝えたい。昨秋、高校卒業を前に上咽頭(いんと)がんで亡くなった浜松南高三年の藤田健吾君(当時17)も、浜松市南区米津町にインターネットのブログ(簡易型日記サイト)に書き残した日記を、両親の伸之さん(画)と恵美子さん

(画)が本に仕上げ、自費出版した。三月一日の同校の卒業式で卒業生に配る予定で、両親は多くの方々への感謝の気持ちを込めた。若い人々にぜひ読んでほしい」と同世代の若者に夢を持って生きる大切さを訴えている。



藤田健吾君

健吾君は小学校でサッカーを始め、中高ともサッカー部に所属。中学三年生の時に発病し、高校では病気と闘いながら学業とサッカーに打ち込んでいた。……  
健吾君の文章や遺品を見ながら、愛患への思いを語る藤田伸之さん・恵美子さん夫妻(浜松市南区米津町)

ち込んだが、昨年十月、家族に見守られて亡くなった。  
本のタイトルは「ありがとう」。両親が選んだ二〇〇六年八月から昨年十月六日までの文章を、健吾君の写真や友人らの手紙とともに一冊にまとめた。  
「こんなに素晴らしい仲間たちに出会えて本当によかった」「宝物」。「今日の将来の夢 大人になって友達への恩返しをしている自分」(「終業式」)。  
健吾君は療養生活の中

で感じたことを詩の形でつづった。部員一人ひとりにメッセージを寄せた「贈る言葉」、弟の成長を見つめる「スパイク」など、将来への強い意志と家族や友人への深い親愛の情を込めた文章が並ぶ。  
「サッカーと仲間が大好きで、弱音を吐かず、一生懸命に生きた」と父伸之さん。健吾君の葬儀には大勢の同級生や仲間が集まり、友人代表が弔辞で「宝物」の一文を読んだという。「亡くなった後もたくさんの方々が来てくれて、本当にありがたい」と母恵美子さんは語った。  
卒業式には両親も出席する予定だ。同書の問い合わせは藤田さんのEメールアドレス「rita.913@yahoo.co.jp」へ。

# 希望を胸に 巣立ちの日

静岡県内の多くの公立高校で一日、卒業式があった。全日制では六十一校の三年生がそれぞれ希望を胸に学びやを巣立ちた。

浜松市南区の浜松南高校では普通科と理数科の計四百人。一人ずつ名前を呼ばれると「はい」と大きな声で返事をし、約千人の保護者や在校生の前で背筋を伸ばした。出席を夢見ながら昨年十月にがんで亡くなった藤田健吾君のクラスメー

## 県立高で卒業式

トの一人が「三十三番、藤田健吾」と呼ぶと、クラスメイト全員で「はい」と声を響かせた。式後、藤田君のブログをおさめた本四百冊が、所属していたサッカー部の仲間らを通じて同級生に配られた。残る公立全日制の卒業式は四十二校で三日、一校で十八日に行われる。

土屋光永校長（手前）から普通科代表で卒業証書を受け取る小野詩歩さん（中）一日午前、浜松南高で



# 天国から「ありがとう」

## ブログにつづった17歳の闘病日記本



高3の夏、文化祭でサルの着ぐるみを着た藤田健吾さん  
||母・藤田恵美子さん提供

昨年10月、浜松市の高3男子生徒がのどのがんで亡くなった。級友に支えられ、病魔と闘いながら、17年を精いっぱい生

## 浜松南高校 卒業式のきょう、同級生に

き抜いた。「聞き取りにくい声と発音に／いやな顔一つせず真剣に聞き取って笑ってくれた」。携帯電話のブログにつづった闘病日記が両親によって自費出版され、3月1日、卒業式で同級生約400人に配られる。題は「ありがとう」。

著者の藤田健吾さんは中学3年、14歳の秋、突然めまいがするようになった。発病率が60万人に1人と言われる上咽頭腫瘍だった。両親は浜松南高の合格発表の日に病名を告げた。同高では、小学2年以来続けてきたサッカー部に入学し、放射線治療を受けながら練習を続けた。薬の副作用で物が食べられないこともあったが、同級生

の輪に加わり、高校生活を楽しんで。

ブログは高2の夏からクラス数人で始め、高3の4月から自分のページで続けた。最後の記載は昨年10月6日だ。「たまに日記さぼるかもだけど許してや／ちゃ」。2日後、愛知県豊橋市の動物園で「観覧車の最上で写真を撮りたい」と親子3人で写真を撮った。そして翌9日、自宅で息を引き取った。携帯電話には今も友人からメールが届く。「お前は俺のなかですっと走り続けている」

両親は「健吾は『みんなの卒業式を見たい』と言っていた。今これが健吾の代わりにできること」と話し、卒業式にも出席する。「元気になったら、必ず恩返ししたい」。健吾さんの同級生に感謝の言葉を残している。

【平林由梨】

## がんで亡くなった浜松南高の藤田さん

# 同級生に贈る 命のブログ

昨年10月、上咽頭がんのため17歳で亡くなった県立浜松南高3年藤田健吾さんが、1年間にわたって闘病生活や大好きなサッカー、仲間への思いをつづった「命のブログ」を両親が1冊の本にまとめた。「卒業式を見てみたい」「友人たちに恩返ししたい」と語っていた健吾さんの思いが詰まった本が1日、同校の卒業式で約400人の同級生に贈られる。

### サッカーや仲間への思い 両親が配布



健吾さんの遺品を前に思い出を語る母の恵美子さん(右)と伸之さん(浜松市南区米津町の自宅)



藤田健吾さん

健吾さんは中学3年生の10月、がんと診断された。高校入学直後に告知されたがサッカー部に入部。放射線治療などで体重が落ち、度々体調を崩しながらも3年生まで続けた。「不安にさせたくない」と同級生に病名は知らせなかった。病状が悪化し、昨年10月

9日、父伸之さん(49)、母恵美子さん(46)ら家族に見守られ、浜松市南区米津町の自宅で息を引き取った。ブログは一昨年8月から書かれていた。体調のことや闘病中の心の葛藤を書きながらも、冗談を交え、明るさを失わなかった。「病気を恨んだりほしくない。でもやっぱりやりたい(略)でもこんなにはばらしい仲間に出会えて本当に良かった。みんなは俺の永遠の宝物です」

「身体が動くなら、オレはずっとボールを追いかけたい(略)すばらしい仲間と離ればなれになるにはまだ早すぎる」

部活の仲間や小学2年で始めた大好きなサッカーについて書いていた。亡くなる3日前でも「だつて元気になって来ちゃっただんだもん。だから安心してください」と、仲間や家族を気づかっていた。

死後初めてブログを読んだ恵美子さんは、「同世代の健吾の言葉は心に響くはず。この子が果たせなかった思いや夢と共に生きてほしい」と本にして、卒業式

で同級生に贈ろうと思いついた。病名は伏せようと思つたが、「何と無い、どれだけ頑張ったかわからないじゃない」という健吾さんの姉の一言で考え直した。高校3年の春、健吾さんが見守る試合でゴールを決めたサッカー部の親友が、ユニホームをたくし上げ、中に着ていた健吾さんの練習着を見せた。「お前のために1点とったぞ。その場面を撮った伸之さんの写真が、本の表紙になった。

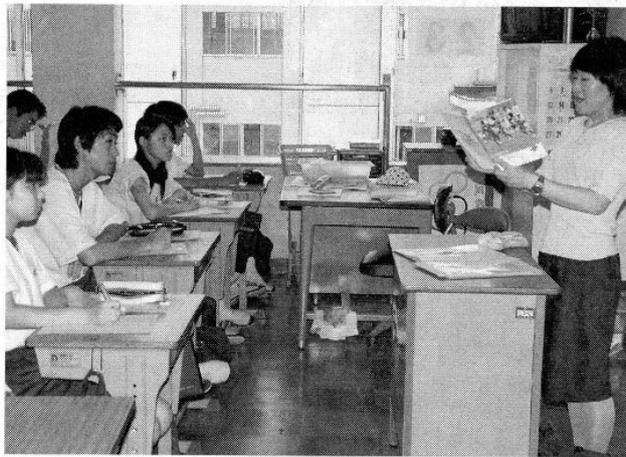
プレー中やジュビロ磐田の選手と一緒に写った健吾さんの写真、友人からのメールなども添えた。伸之さんと恵美子さんは「短かったが、多くの仲間」に恵まれ、いい人生を歩んだ。支えてくれた皆さんに感謝したいと話している。問い合わせは伸之さん(n.fujita13@yahoo.co.jp)へ。

# 「日々を大切に生きて」

## 難病で長男を失った藤田さん

### 命の貴さ訴え 中区 南部中

浜松市立南部中で十五日、道徳の特別授業が行われ、昨年に秋に長男健吾君(当時七)、浜松南高三年(二)を難病の上咽頭(いんどう)がんで亡くした同市南区米津町の藤田恵美子(四七)さんが、自身の経験を通じて生徒に命の大切さを説いた。



生きることの貴さを生徒に語り掛けた藤田さん

浜松市中区の市立南部中

健吾君は生前、サッカー部に所属し、インターネットのブログ(簡易型日記サイト)に多くの日記や詩を書き残した。藤田さんは、健吾君が友人への感謝をつづった詩「終業式」を朗読し、「限られた時間しか学校にいらなかったが、健吾は学校と友達から生きる力をもらっていた。今は私が、健吾や多くの人々に生かされていると思う」と心情を語った。

さらに藤田さんは、「健吾は『言葉と時間はとても大切だよ』と話していた」と息子との対話を振り返り、「生きたいと思

っても生きられない人も田さんの話を真剣な表情で聴いた。「『生かされて、大切に生きてほしい』と呼び掛けた。事前学習をして臨んだ二年生三十六人は、藤田さん(四七)は「命の重み、言葉の重みを感じた。これからは言葉を大切に、もっと人に『ありがとう』と高橋がどう』と言いたい」と話した。